



とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名

千代むすび酒造株式会社

所在地

鳥取県境港市大正町131

代表者

代表取締役 岡空 晴夫

業種

製造業

事業概要

1865年（慶応元年）創業。日本酒を中心とする発酵商品の製造を主業とし、「みんなの幸せ 自然の恵みを 美味しく楽しく健康づくり」を経営理念に事業を展開している。

2013年からはノンアルコール商品である糀甘酒の製造をスタート。

販売網は国内のみならず、1995年から開始した輸出取引により約20ヶ国にアルコール商品を輸出している。コロナ禍となり国内の飲食店需要は未だに回復していないが、海外輸出や国内でのオンライン販売売上は伸びている。今後は「高付加価値化」と「国際化」の2点を合言葉に、国内外での継続的な需要取り込みを図っていく方針。

<2030年に目指す姿>

鳥取県境港市唯一の酒蔵である弊社は、地域の繋がりを大切に、単に自社のみ利益を追求するのではなく、「地域になくてはならない会社」を目指しています。

全国で最も人口の少ない鳥取県が持続可能な地域であり続けるためには、県外、海外へ鳥取県産のものを販売していくとともに、インバウンドも含めて多くの方に鳥取県を訪れてもらうことが大切であると考えています。そのためにはこの地域の魅力を真剣に考え、効果的に情報を発信することで、鳥取県内で楽しんでいただくツーリズムを構築していくことが必要であると思います。そのツーリズムの中の一つに伝統的な酒蔵が加わることで魅力を創出できると考えます。

また、2年前から取り組んでいる農業（酒米作り、焼酎用の芋作り）にも積極参入し、原料生産・原料加工・販売の6次化にも引き続き取り組んでいきます。地元の農家の方と質の高い原料作りを徹底的に追求し、付加価値の高い加工品（日本酒等）を生み出していきます。また、加工品製造においても、甘酒を使用した低糖質パン、地元のイチゴを使用したイチゴ甘酒など、自社のみでは完結できない商業連携を生み出していくことで、おのずと「地域になくてはならない会社」へ近づいていくことができると考えています。

世界的な気候変動がある状況を考え、2030年のカーボンニュートラルを目指します。具体的には太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用や、自社で排出する温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。安心・安全なエネルギーの利用を前提に、弊社で生み出す安心・安全な発酵商品を通じて世界中の人々が幸せになることを目指していきます。

<目指す姿の実現に向けた重点的な取組>

社会1：労働災害の防止
社会5：多様な人材の活躍

経済6：コロナなどの市場変化を見据えた対応
経済7：自社以外の経営資源活用

環境9：環境配慮型商品・サービスの提供

<重点的な取組推進時のインパクト（正の影響、負の影響）の分析・考察>

◆労働災害の防止（社会1）

全国の過去の事例を見ると、酒蔵では死亡事故も含めて労働災害が発生している。ヒヤリハット0件に向け社内改善を行っていく。

◆多様な人材の活躍（社会5）

幅広い世代、外国人も含めて多様な人材に社内で活躍いただくことを目指す。

◆コロナなどの市場変化を見据えた対応（経済6）

市場変化に影響されないために販売先のリスク分散を図る。

◆自社以外の経営資源活用（経済7）

他社での瓶詰め缶詰めなどファブレス化の実施。農業面での他社の経験、技術の活用。

◆環境配慮型商品・サービスの提供

廃棄される可能性のある「酒粕」をジンとして新たな命を吹き込み、酒粕廃棄ゼロ社会を目指す。

取組	正の影響	負の影響
ヒヤリハット0件	労働環境の改善	作業効率の低下
多様な人材の活躍	多様な嗜好ニーズの取り込みが可能	外国人に対する言語対応が必要
販売先のリスク分散	大きな市場変化が発生したときに影響を軽減できる	販売先の分散を図るために営業面、事務面が煩雑となる
工場のファブレス化	自社投資せずに商品完成が可能	自社にノウハウが蓄積されない
廃棄される可能性があるものを商品化	副産物の廃棄ゼロを実現できる	新たなブランディング、市場開拓が必要

社会(1/2) : 千代むすび酒造株式会社

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
労働災害の防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半手動のラベル貼り機械による手を巻き込まれる労働災害の防止のため、自動ラベル貼り機械の利用頻度を高めている。(都度) ・お酒の発酵タンクの開口部へ昇るためのハシゴから落下の危険性があるため、ハシゴを固定して落下防止対策をしている。(都度) ・商品完成については繁忙時は他部署からの応援により総務部、営業部、小売部が製造の業務に入ることもある。上記のような危険を伴う点について部署ごとのLINE グループや、会社内全員 LINE グループで情報共有しており、未然に危険を防ぐ仕組みを作っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット発生0件(R6年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場労働者向けにチェックシートを作成し、1つ1つの業務の危険性を洗い出す。部署を越えて危険性のある業務の見直し研修を行い、業務改善について社内全体で取り組んでいく。
ハラスメントの防止	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントを許さない経営トップのメッセージを週に1度の全員朝礼で伝える。 ・アンケートや面談などによる実態把握。 ・取引先に対するハラスメント防止。(面談は3ヶ月に一度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場内ハラスメントゼロ(R6年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内に相談窓口を設置し、気軽に相談できる仕組みを作る。社内でのハラスメント防止のため経営トップが率先して対策を講じる。
女性の活躍	<p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 50%(令和4年4月末時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 27%(令和4年4月末時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別によらず誰もが働きやすいように、上司等に気軽に相談しやすいような、風通しの良い職場環境づくり。 ・女性の積極採用、管理職への積極登用。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI></p> <p>全従業員に対する女性の割合 60%(R6年時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合 50%(R6年時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輝く女性活躍パワーアップ企業、スタートアップ企業への登録。 ・女性のキャリアアップに向けた研修・セミナーへの参加推奨。
多様な人材の活躍	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、就職氷河期世代、外国人、若者など、多様な人材の活躍の経営方針への位置づけ。(都度) ・対話の仕組みづくりや課題の把握・解決。(スタッフとの面談による対話は3ヶ月に一度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>多様な人材の受け入れ、活躍の促進。(R6年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規労働者の正規への転換促進。 ・同一労働同一賃金に基づく待遇格差解消。

社会(2/2) : 千代むすび酒造株式会社

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
多様な働き方の促進	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間や有給休暇取得率の目標設定。(有給休暇取得率は年に一度確認) ・部下の残業時間や有給休暇取得状況を管理職の人事考課へ関連付け。(都度) ・フレックスタイムの活用促進。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間休日110日の実施。(R6年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働時間や休暇取得に関する相談窓口設置。
労働者への人権配慮	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の意識啓発・研修。(月に一度) ・外国人を含めた従業員の適正な労働条件の確保、賃金未払や過剰・違法労働の防止。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員からの苦情・要望に対して改善していく職場づくり。(R4年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによる従業員や取引先への実態把握。 ・従業員や取引先への苦情/相談窓口を設置。
地産地消	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元事業者から日本酒の原料となる酒米、ノンアルコール酎甘酒の原料となる一般米(星空舞等)、リキュールや甘酒の原料となる柚子、梅の実、イチゴ、ブルーベリー、柿、リンゴ、ジンの原料となるクロモジ、生姜など、積極的・優先的に仕入れている。単純に価格が安いものを仕入れるのではなく、地元の原材料をPRすべき点を見出し、付加価値をつける努力を行っている。(都度) ・「食のみやこ鳥取県」推進サポーターへの登録。(登録済、都度更新) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上全体における鳥取県産原料の95%以上使用を達成。(R5年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の発展や地域の事業者との共存共栄を経営方針へ位置づけ。
地域社会への貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいサポート企業」に認定され、障がい者への配慮を実施。(都度) ・GoTo 商店街事業の取りまとめ役を行い、コロナ禍でも地域活性化の取り組みを実施。(2021年) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港市の地域を動かすリーディングカンパニーとなる。具体的には境港市内の他社とコラボレーションにより開発する商品を10商品目指し、境港市になくてはならない会社となる。(R6年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会との交流イベント主催などによる地域活性化の取り組み。

経済(1/2) : 千代むすび酒造株式会社

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
事業継続計画(BCP)の策定	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの定期的な見直し。(年に一度) ・BCPに沿った訓練実施、有用性検証。(半年に一度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの毎年の見直し。(R4年以降毎年実施) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災に関するセミナーやイベントに積極的に社員も参加し、知見を広める。 ・新型コロナウイルスやサイバーセキュリティなど、新たな脅威の把握・分析。
セキュリティ対策	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先の運送・清掃業者など、建物に出入りする者のセキュリティ上のルール整備。(都度) ・防犯カメラを社内敷地の10ヶ所に設置しており、外部からの侵入者やお客様の不審な行動のチェックを行っている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイバー被害ゼロ。(R5年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や機密情報の入手・作成、利用、保管、提供、消去の取扱手順の策定。 ・ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的更新、重要情報へのアクセス制御。 ・専門機関の診断等を踏まえた情報セキュリティの方針策定・対策、従業員教育。
法令順守の取組の徹底	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営トップの法令順守のメッセージ。(週1回の全体朝礼で徹底) ・自社事業に関わる法令の把握、抵触した場合の影響の分析・把握。(都度) ・従業員に対する研修の実施。(3ヶ月に一度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令順守に対する社内意識の向上。具体的には6ヶ月に1度の社内研修を行い、意識の向上に努める。(R5年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部通報制度など、コンプライアンス違反の早期発見、未然防止の体制整備。 ・コンプライアンスマニュアルなどの社内規定の作成、社内共有。
後継者の確保	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産、従業員の年齢構成、資金繰り、株式保有状況、経営者保証など、会社の現状把握。(都度) ・後継者(岡空 聡)の選定、教育・人脈形成。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者(岡空 聡)の取締役登記。(R4年8月) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者の教育、従業員の理解促進。

経済(2/2) : 千代むすび酒造株式会社

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
コロナなどの市場変化を見据えた対応	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場や経営環境が変化することを前提とした継続的な情報収集。具体的に、国内及び海外ともに低アルコールを嗜好する層やアルコールを飲まない層が増えているため、市場の変化に対応が必要である。(都度) 顧客やライフスタイル、価値観の変化がもたらす自社事業への影響の把握・分析。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場の変化に影響されないために、販売先のリスク分散を図る。また低アルコール商品、ノンアルコール商品の開発をしていくことも求められる。(R5年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後見込まれる法令改正や規制緩和がもたらす自社事業への影響の把握・分析。 上記変化を踏まえた自社の商品・サービス、事業領域の見直し。
自社以外の経営資源活用	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他社での日本酒ボトル缶詰め委託(ファブレス化)。(都度) 自社での米作り、芋作りにおける農家さんや営農センターさんなどの協力体制。(毎年5月に田植え、苗植え、9月に稲刈り、芋収穫) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上を現在の2倍達成を目指す(R8年)。外部委託や協力体制の有効活用により、売上が2倍となった場合でも現在の社員数から増やすことなく売上達成することを目指す。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 副業・兼業人材など、外部専門家の活用。 自社の中核事業と非中核事業を見極めた戦略的な外部委託(アウトソーシング)の実施。
雇用の維持・拡大	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職後のミスマッチが起きないようにインターンシップの積極引き受け。(都度) 会社の成長・発展に向けた経営多角化、設備投資。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用の維持。(R4年以降も継続) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウイスキー事業など経営多角化に伴い、スタッフの積極採用を実施。 社員の処遇改善。毎年4月に、給与のベースアップすることを目指す。
人材育成・能力開発	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加推奨、積極的活用。(都度) OJTに質の向上に向けた業務内容のマニュアル化やトレーナー教育。(都度) ジョブローテーションによる計画的な従業員のスキルアップ。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 20代の積極採用を行い(R5年)、入社する社員が在籍20年以上勤めて、弊社でスキルや人間力を磨くことを目指す。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後日本酒を消費する世代である20代を積極採用し、新たなニーズの掘り起こし、新たなニーズに合わせた日本酒製造を行っていく。 伝統的な日本酒造りのスキルを身につけるためには年数を要するため、20代で採用した社員が定年を迎えるまで離職しない会社を目指し、技術が社内に蓄積されることに取り組む。 従業員のスキル把握、能力開発計画の策定。 会社の業務に必要なスキルマップの作成。

環境(1/2)：千代むすび酒造株式会社

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
気候変動リスク／環境負荷リスク・機会の分析・対策		
自然環境の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候不順による酒米の不作で当初予定した量の仕入れができない。 ・地域の個別要因で酒米や芋の質が年度によって安定しない。 ・大地震が発生した場合、貯蔵中のお酒の大被害が想定される。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お酒の仕込み計画に対して酒米が不足しないよう余裕を持った酒米在庫を確保する。(年に一度、仕入れ量を決定) ・酒米や芋の仕入れを鳥取県産のみならず、様々な地域の原料も仕入れることができるよう仕入れルートを確認し、リスク分散を図る。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社のある地域において大地震が発生した場合に備え、お酒の瓶やタンクが横転して大事故が発生しないよう備える。(R4年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースに入れたお酒の瓶は段崩れが起きないように、結束バンド等で止める。 ・火災が発生しないよう、漏電の対策を講じる。
社会・制度の変化が経営にもたらす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的な気候変動対策の機運の高まりによる原材料等高騰が懸念される。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料高騰となっても事業を継続していくことができるよう、商品の価格転嫁を常に検討し実施する。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的な気候変動対策の機運の高まりも原因として、原材料価格、資材価格の高騰基調にあるため、商品の販売値段への転嫁をする。(R5年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瓶、資材など長期的な仕入れ価格の上昇トレンドを踏まえ、常に適正価格での販売に努め、取引先に対しても交渉を行っていく。同一商品の単純な値上げは市場で抵抗があるため、商品のマイナーチェンジや付加価値を伝える工夫・努力を行っていく。
自社の事業活動が引き起こす影響	<p>【リスク・機会の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本酒製造を行う中で、電力、ガスを消費しており、温室効果ガスを排出している。 <p>【分析に基づく主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営店舗で販売するテイクアウト飲料のカップを原料再利用のエコカップを使用開始し、環境負荷の低減に努めている。(R3年) ・社用車で週5日の商品配達を週3日に見直して、効率化を図り、ガソリンの消費を抑えている。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の製造量と同水準で推移した場合でも環境負荷を低減していく。(R8年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社用車5台を全て電気自動車に変更する。 ・トラックのチャーター便など国内の商品輸送に関して、カーボンニュートラルに取り組む運送会社に運送を依頼する。

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
カーボンニュートラル		
<省エネ> 燃料消費量の削減	<p><KPI> CO2 排出量 10t-CO2/年(令和3年6月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスボイラーを使用し、日本酒を中心としたアルコール発酵商品を製造。熱効率を高めるため、総使用時間の圧縮に努めて、効率的な商品製造計画を作成、実行している。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> CO2 排出量 7t-CO2/年(令和6年6月時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量より質の製造計画を作成し、付加価値の低い商品を廃止し、無駄な燃料消費の削減を年間ベースで考え、実行する。 ・省エネ設備へ更新を行う。 ・設備の熱排出の再利用を行う。
<省エネ> 電力消費量の削減	<p><KPI> CO2 排出量 120t-CO2/年(令和3年6月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に日本酒製造工程、発酵中のタンクの温度管理、搾った後のお酒の殺菌工程、瓶詰め後の冷蔵コンテナで電力消費している。4.の燃料消費と同様に、総使用時間の圧縮に努め、効率的な商品製造計画を作成、実行している。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> CO2 排出量 100t-CO2/年(令和6年6月時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員が実践するための節電マニュアルを作成し、全社での実践を行う。 ・省エネに対応した建物改修を行う。

環境(2/2) : 千代むすび酒造株式会社

取組項目	現在の取組	今後の目標・目標達成に向けた取組
廃棄物の削減	<p><KPI> 総廃棄物発生量 5t/年(令和3年6月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本酒の副産物である「酒粕」が廃棄とならないよう、酒粕管理表で発生量、出荷予定を管理し、酒造季が終了する毎年6月頃に廃棄することがないようにする。(週に1度、管理表の整備) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p><KPI> 総廃棄物発生量 2t/年(令和6年6月時点)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所における廃棄物の分析、削減計画立案、社内ルール整備等の推進。 ・酒粕や麦芽粕を飼料、肥料として再利用することを実行する。
環境配慮型商品・サービスの提供	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄される可能性のある「酒粕」を使用して「酒粕発酵焼酎」を製造している。その酒粕発酵焼酎から「クラフト・ジン」を製造している。これは弊社の酒粕のみならず、具体的に福島県の酒蔵から発生した酒粕もジンとして製造を行った。(都度) 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の酒粕のみならず、他社の酒粕に新たな命を吹き込みジンにする活動を続けていき、日本全体で酒粕廃棄ゼロを目指す。(令和8年) <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒粕からジンを生み出すプロジェクトを考えた「エシカルスピリッツ株式会社」と連携を行い、目標達成を目指す。
環境面での社会貢献	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用後の中古瓶(一升瓶、720ml瓶、300ml瓶、180ml瓶)を回収し、洗浄を行い、再度日本酒や焼酎用の瓶として再利用している。(都度)現在の再利用率は5%である。 	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中古瓶の再利用率10%を目指す。 <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中古瓶を再利用していることを社外発信し、中古瓶の回収を強化していく。 ・空き瓶回収のディポジット制度の導入を目指す。(R8年)